

峯ハ佐野山、西山、琴平山、東山、大刀野山、小里山、ソエ山、大久保山、板東山、ノ如キ是ナリ

左側支川ノ事

銅山川、銅山川ハ長十八里アリ、伊豫ノ山中ヨリ出ツ、川口村ニ於テ吉野川ニ入ル。此川ハ急流ニシテ舟楫ノ航通ニ適セス。然リト云、吉野川ニ清澄ノ水ヲ給スルマ、甚多量ナルニ由リ、吉野本流、川口村ヨリ下流ニ於テハ航通ノ便ヲ得ルモノナリ。流水ハ時トシテ銅塩ノ氣ヲ帯ヒテ、臭類モ其毒ニ中リ死スルヲアリ

白川、白川ハ尺一糸ノ急流ナレ、其清美ナリ、水源ハ^{ナツ}山ヨリ発ス

尚天ヨリ下方ノ如キハ、讃岐ノ高山南面ノ諸谷ヨリ出ツル、數多ノ潤流アリ、皆短流急流ノ川線ヲ以テ、吉野川ニ入ル。潤流ノ川床ハ平常乾涸ノ状ヲ呈スト、蚤踏濕ノ季ニ至シハ水勢猛進シテ、以テ多量ノ物質^注ヲ^注テ、吉野川ニ輸送ス。著大ノ危害ヲ吉野川ニ生スル所ノ原因主トシテ、此谷ニ

ソエ山 Ⅱ 祖江山

銅塩ノ氣、銅のような様子

ト、日事

氏 Ⅱ ドモ

短流急流。みちかくて急いこと。

乾涸。川や池の水が減りかれる

霜凍ノ季。雨の多い季。ぬれぬうらほい

山、琴平山（箸蔵山）、東山（三好町北部の山）、大刀野山、小里山（美馬町郡里の山）、ソエ山（脇町曾江の山）、大久保山（阿波町大久保の山）、板東山（鳴門市大麻町板東北部の山）などである。

左側支川のこと

【銅山川】銅山川は長さ一八里あり、伊予の山中より流れ出し、川口村（山城町川口）において吉野川に合流する。この川は急流であって、舟の航行には適さない。しかしながら吉野川に清澄な水を供給すると甚だ多量であるから、吉野川本流は川口村より下流では航通の便がよくなる。流水には、時によって銅が混ざり、魚類もその毒にあたって死ぬことがある。

【白川】白川は、ただ一筋の急流であるけれど、その水は清美である。水源はチウゾ山（中曾山）より流れ出ている。

なお右の両川より下流は、讃岐の高い山の南面の諸溪谷より流れ出る数多くの谷川があり、すべて短く急な河川で吉野川に流入する。谷川の河床は平常は涸れているが、雨季には水勢が激しく、従って多量の物質（土砂）を吉野川に運び込む。

殆ス故ニ此谿谷ニ就キ稍精細ナル検査ヲ施スコト
 復タ歎ケ可ラザルノ要歎トス。是ヲ以テ附録(第一)ニ左
 側谿谷逐一ノ状ヲ説明ス

右側支川ノ事

イマ川、イマ川ハ銅山川ニ重テ着大ナル支川ナリ直行シテ劍
 山ヨリ流レテ末ル其長二十里アリト云ヘリ。此川ノ一支ヲ
 拾尾川ト号ケ烏帽子山ヨリ出ツ。イマ川ハ飛流急湍ヲナ
 シ終ニ吉野川ニ入ル其濠又スル所ハ川口村ヨリ一里許ノ下
 流ニ於テス。濠口ニハ燧石岩片ヲ混スル礫質ノ大礫洲アリ
 譬ヒ竹木山地ニ繁茂スルト虽猶自然ノ浸蝕欠崩並ニ切一畑
 耕作ニ由テ以テ障碍トナルベキ物質多少ヲ流送ス
 漆谷シツ谷ハ池田村ノ上ニ在リ長一里アリ清水ヲ流出ス
 ハチッ谷及ヒ中村谷、此両谷ハ池田村ノ下ニ在リ清澄ナル溪
 水ヲ流出ス
 井ノ内谷、井ノ内谷ハ龍宮ニ相對シ井ノ内山ヨリ流レ出ツ
 而シテ長三里アリ。其水清クシテ且早天ニ毛猶一秒間ノ流

胚分。ははまる。
 要歎。要項

イマ川ニ註山谷
 亞ラリ次に

飛流急湍。非常に急な事
 台流の意
 濠口。台流の意
 大礫洲。大きい洲の事
 州木。草木の古字
 草と木と

切一畑耕作。山を焼きはらって耕作する
 こと

龍宮。みでりの時
 早天。みでりの時

著しい被害を吉野川に発生させる原因は主として、この溪谷群より
 はじまる。それ故に、この溪谷について詳細な調査をすることは、欠
 かすことの出来ない要点である。そのために、附録第一には左岸の溪
 谷について詳しい説明をした。

一 右側支川のこと

【祖谷川】祖谷川は、銅山川に次ぐ大きな支流である。直流して劍山
 より流れ出る。その長さは二〇里あるという。この川の一支流を松尾川と呼び、烏
 帽子山から流れ出す。祖谷川は非常な急流で吉野川に流れ込む。その合流点は川口
 村(山城町川口)より一里ばかり下流である。合流点には燧石岩片の混じった礫質
 の大砂州がある。たとえ草木繁茂の山地であっても、自然の浸食崩壊、及び切畑(焼
 畑)耕作によって、(河川の)障害となるべき物質を多少流し込んでいく。

【漆谷(漆川)】漆谷は池田村(池田町池田)の上流にあり、長さ一里
 で清水を流出している。

【ハチウ谷及び中村谷】ハチウ谷、中村谷の両谷は池田村の下流にあり、
 清澄な谷水を流出している。

【井ノ内谷(井ノ内谷川)】井ノ内谷は龍宮に向かい合っている。井ノ内山より流
 れ出し、長さ三里である。その水は清流で、干ばつにも、なお一秒間に一〇立方尺
 前後の水量を絶やさない。

※1 燧石
 石英片岩又は石英脈の礫か

※2 ハチウ谷
 池田町蓮華寺の東の谷

※3 龍宮
 三好町美濃田の湖の左岸の辺
 り